











租税教室



認知症サポ

がふかふかすぎて歩くことが大んでいます。はじめのうちは雪 ちと一緒になって雪遊びを楽しの子たちも大きいクラスの子た よ~」と困っていた子も 変で一歩も動けずに「歩けない はワクワクしながら言っている 子どもたち。0・1歳児クラス する?」と毎日窓から外を見て 「雪降ってるね~」「今日雪遊び いまし

さんの雪が降り積もりました。さかえ保育所の園庭にもたく 小学校間

同じ事をして楽しそうにしてい をしたりと大きいクラスの子と を引っぱって歩いたり、尻滑り たいという姿が多くなり、そりに憧れを持ち、一緒のことがし ツをつかみ、遊べるようになったが、徐々に雪の上でも歩くコ てきました。 大きいクラスの子

促し、寒い冬やコロナウイルス雪遊びを通して心身の発達を に打ち勝ってほしいと思います。

ます。

間交流授業を進めてきました。果が上げられるよう、小学校交流を深め、よりよい教育効では、これまで両校の児童がでは、これまで両校の児童が

よう」を目あてとし、実施して思い出に残る宿泊研修にしえた「マナーを守り、協力しえた「マナーを守り、協力しまがら、子どもたちが自ら考しながら、子どもたちが自ら考しない。 で実施しました。 フレーム作り」、「パークゴル「ウォークラリー」や「森のました。両校の子どもたちは

赤い羽根募金

し合い、時には助け合いながら取り組み、目あてを達成することができました。 ティションの仕切りの中で会話もできないという寂しいものでしたが、夜の自由時間では楽しく遊んだり、話をしたりすることができました。子りすることができました。 「一様の交流の輪も広がりました。 小学校間交流授業は、児童 の経験を深め、社会性を養い、 豊かな人間性を育むとともに、 豊かな人間性を育むとともに、 お互いを尊重し合う大切な機 会となるなど、大きな意義を 有きるものです。





